平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	中学校図書館の充実								継続
コード	24	－	90	－	03	－	00	予算事業名	中学校指導事務
担当部署	学校教育部		教育指導課		生徒指導担当			予算事業コード	会計 10　款 10　項 03　目 01

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合

法令による実施義務：義務

基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	実施計画事業名	なし
方向性(節)	2節	個性を活かす学校教育の推進	個別計画等の名称	川越市子ども読書活動推進計画
施策	2	教育環境の整備・充実		
細施策	3	学校図書館の充実	当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等	子どもの読書活動の推進に関する法律、学校図書館図書標準			

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	・各市立中学校を対象に、学校図書館図書標準の達成を目指すことで、一人あたりの蔵書数を増やす。 ・読書活動を推進することにより、生徒の豊かな心と確かな学力の育成を図る。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	・教育委員会と各学校職員が協力して、生徒のニーズに応じた計画的な図書の購入及び廃棄を実施する。 ・朝読書や読み聞かせ、「小江戸読書手帳」の活用を通じて、生徒の読書活動を推進する。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		13,270	13,370	15,770	13,520	13,170	
（25年度予算額大幅増／減の理由）							
事業費	A	133,251	13,492	15,785	13,661	13,170	13,370
人件費	B	0	0	0	0	0	0
総コスト（C＝A＋B）		133,251	13,492	15,785	13,661	13,170	13,370
正規職員（1年間の従事人数）							
臨時職員（1年間の従事人数）							
国県支出金	D	0	0	0	0	0	
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	
市の財政負担（＝C－D－E）		133,251	13,492	15,785	13,661	13,170	13,370

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

	評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
成果	学校図書館図書標準の達成率	%	79.8	82.3	85.7	90.8	94.4	27年度	100.0
	指標の定義・説明								
成果	一人あたりの蔵書数	冊	20.9	21.9	23.1	24.4	25.5	26年度	26.6
	指標の定義・説明								
成果	一人あたりへの貸出数	冊	2.4	3.0	3.4	5.0	5.8	26年度	6.7
	指標の定義・説明								
								年度	
	指標の定義・説明								
指標に基づく評価	市立中学校の学校図書館の蔵書数を、学校図書館図書標準が示す冊数に近づけることで、各学校における生徒の読書活動が活性化が図られた。								

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況　公平性に課題

学校図書館図書標準は改善傾向にあるが、限られた予算の中で蔵書数を増やすとともに、蔵書の質の確保を図るなど量と質のバランスを取りながら、図書館の充実を図っていく。

(2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

他市においても、本市と同様に学校図書館図書標準の達成率の向上に向けて取り組んでいる。

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

生徒にとって最も身近な学校図書館の蔵書数が減少することで、読書量の低下を招き、知識量や思考力・創造力等の学力向上や豊かな心の育成に影響を及ぼすことが考えられる。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			学校教育部				教育指導課	教育指導担当
事務事業名称			24	90	03	00	中学校図書館の充実	
今後3年間の方向性	25年度	継　続						
	26年度	継　続						
	27年度	継　続						